

パンフレット原稿案について

☆ 表紙

みんなで^{ささあ}支え合う^いともに^{とうきょう}生きる東京へ

—^{とうきょうとしょうがいしゃ}東京都^{りかいそくしんおよ}障害者への^{さべつかいしょう}理解促進^{すいしん}及び^{かん}差別^{じょうれい}解消の^{じょうれい}推進に関する^{じょうれい}条例—

※テニスをしている^{くるま}車いすの^{じょせい}女性、^{はくじょう}白杖^もを持っている^{しかくしょうがい}視覚^{だんせい}障害の^{だんせい}男性のイラストがあります。

※おたすけニャンという^{ねこ}猫の^{みぎて}キャラクターが^{きょうせいしゃかい}右手を^{じつげん}あげて、^{きょうせいしゃかい}共生社会の^{じつげん}実現を^よ呼びかけているイラストがあります。

☆ 2 ページ

^{しょうがい}障害を^{りゆう}理由に^{こま}困ったと^{かん}感じる^{かな}ことや^{おも}悲しい^{おも}思いを^{おも}することが^{おも}なくなるよう

^{とうきょうと}東京都では^{へいせい}平成^{ねん}30年^{がつ}10月^{せいてい}に^{せいてい}制定した

「^{とうきょうとしょうがいしゃ}東京都^{りかいそくしんおよ}障害者への^{さべつかいしょう}理解促進^{すいしん}及び^{かん}差別^{じょうれい}解消の^{じょうれい}推進に関する^{じょうれい}条例」^{もと}に基づき

^{さまざま}様々な^と取り組み^{おこな}を行っています。

☆ 3 ページ

^{しゃかい}社会^{なか}の中^{みう}に見^{さべつ}受け^{さべつ}られる^{さべつ}差別

わたしたちのまわりでこんなことがありますか？

※おたすけニャンが^{ぼうえんきょう}望遠鏡^{つか}を使って、^{まわ}周り^{みまわ}を見^{みまわ}回り^{みまわ}しているイラストがあります。

☆ 4 ページ

● 病院で…

※精神障害のある若い女性が家族とともに総合病院に行った際に、待つことが難しく別の場所で待ちたいと申し出ましたが、断られて、諦めて帰宅したという内容の4コマ漫画です。

- ・そちらの診察室の前でおまちになって掲示板に番号がでたらお入りください。
- ・人がたくさんいるわね
- ・娘は人が多いと苦しいので ほかで まっていいですか？
- ・でもはなれられると順番がきてもわかりませんよ ここにいてください
- ・今日はあきらめましょう

☆ 5 ページ

● アパートやマンション探しで…

※弱視の男性が、不動産仲介店でアパートを探そうとしましたが、障害者向けの物件はないと店員に断られたという内容の4コマ漫画です。

- ・アパートをさがしてるんですが 相談を
- ・目のご不自由ですね…
- ・ええ見えにくいです
- ・そういうかたの部屋はないんですよー
- ・階段とか危ないですし！ふつうのお部屋では無理です…

☆ 6 ページ

● えき 駅で…

※車いすの年配の女性が、切符販売機に手が届かず、困っていますが、周囲には、イヤホンで音楽をきいている若者や、忙しそうに見て見ぬふりする人たちが通り過ぎていくという内容の4コマ漫画です。

・ さあきつぷを^か買って^{かえ}おうちへ帰りましょう

・ あっ つかえて^{とど}届かないわ どうしよう

・ だれか…

スタスタ スタスタ

☆ 7 ページ

● ろじょう 路上で…

※道に迷っている聴覚障害のある女学生が、通行人に、自分は聴覚障害があることを伝えようとしながら地図を指差し、都庁への道をたづねようとしますが、通行人は、いそがしそうに断って通り過ぎていくという内容の4コマ漫画です。

・ …

・ ? ^{いそ}急いでいるので

・ わからないわ わたしじゃだめよ

☆ 8 ページ

● スーパーのレジで…

※知的障害のある男性が、スーパーのレジでポイントカードの更新を店員から提案され、記入用紙を渡されましたが、男性はわからず記入できず、更新できないと店員から言われてしまうという内容の4コマ漫画です。

・ ポイントカードは^{あた}新しくなりました もっていなければ^{あた}新しいカードにでき

ます

こちらの紙^{かみ}に書^かいてください

・ポイントカード...これかなあ

・紙^{かみ}には名前^{なまえ}、住所^{じゅうしょ}、電話番号^{でんわばんごう}を...あれ、名前^{なまえ}のほかにも書^かいてください

・わかりません…

・住所^{じゅうしょ}、電話番号^{でんわばんごう}を書^かいてくれないと、新^{あた}しいカードはわたせません

・次^{つぎ}のかた おまたせしました

☆ 9 ページ

だれ^{だれ}もが共生^{きょうせい}する社会^{しゃかい}を目指^めして定め^{さだ}ました

とうきょうとしょうがいしゃ^{とうきょうとしょうがいしゃ}への理解^{りかい}促進^{そくしん}及び差別^{さべつ}解消^{かいしょう}の推進^{すいしん}に関する条 例^{かん じょうれい}

とうきょう く^{とうきょう}、東京^{とうきょう}を訪^{おとず}れる全^{すべ}ての^{ひと}人^{ひと}が、お互^{たが}いに、その^{ひと}人^{ひと}らしさを

み と あ^{み と あ}認め合^いいながら とともに^い生きる社会^{しゃかい}を目指^めし、差別^{さべつ}をなくして^{しく}いく仕組^しみを

さだ^{さだ}めた^めた^たものです。

※おたすけニャンが巻物に拇印を押すイラストがあります。

☆ 10ページ

しょうがいしゃさべつかいしょうほう へんこうてん
障害者差別解消法の変更点

● しょうがいしゃさべつかいしょうほう と じょうれい ひかく
障害者差別解消法と都条例の比較

	しょうがいしゃさべつかいしょうほう 障害者差別解消法		と さだ じょうれい 都が定めた条例
	やくしょ 役所	みせ お店など	と ない やくしょ みせ 都内の役所・お店 など
ふとう さべつてき 不当な差別的 とりあつか 取扱い	×：してはいけ ない	×：してはいけ ない	×：してはいけな い
ごうりてきはいりょ ていきょう 合理的配慮の提供	○：しなければ ならない	△⇒○：しなけ ればならない	○：しなければ ならない

ごうりてきはいりょ ていきょう
○合理的配慮の提供について

もともと、法において、お店などの民間事業者は「△：努力する」よう定められて

いましたが、平成30年10月から、都条例により、都内では「しなければな

らない義務」になりました。

そして、法が見直され、令和6年4月から、日本中で「しなければならぬ義務」

になりました。

※おたすけニャンのイラストがあります。

しょうがい ひと こま
障害のある人から困っていることを伝えられたとき、できることを話し合う

など、しょうがいしゃ じぎょうしゃ みせ た が り かい たいおう たいせつ
障害者と事業者（お店など）がお互いを理解して、対応することが大切
です。

☆ 11ページ

知^しっておきま^しょう 「社会的障^{しゃかい}壁^{てきしょうへき}と障^{しょうがい}害^{しゃかい}の社会モデル」

障^{しょうがい}害^{しゃ}者が日^ひごろ、生活^{せいかつ}しにくいと思^{おも}うことは、心^{こころ}や体^{からだ}の障^{しょうがい}害^{しゃかい}のみでなく、

社会^{しゃかい}にも原因^{げんいん}となるバリア^{バリア}があるという「障^{しょうがい}害^{しゃかい}の社会モデル」の考^{かんが}えでルール

を定^{さだ}めました。

さまざ^{さま}ま
様^{さま}々なバリア

例^{たと}えば、電^{でん}車^{しゃ}が止^とまったことをアナウンスのみで伝^{つた}えると、聴^{ちょう}覚^{かく}障^{しょうがい}害^{しゃかい}のある人^{ひと}

は分^わかりませ^ん。音^{おん}声^{せい}のみで伝^{つた}えず、掲^{けい}示^じ板^{ばん}で知^しらせるなど、工^く夫^{ふう}することによ

り、誰^{だれ}もが暮^くらしやすい社会^{しゃかい}を目標^{めざ}せます。

※車^{くるま}内で、「事故^{じこ}のため運^{うん}転^{てん}を見合^{みあ}わせておりま^す」と伝^{つた}えるアナウンスがあり、
車^{くるま}内^{うち}から出^でる男^{おとこ}性^{せい}と、状^{じょう}況^{きやう}が分^わからない様^{よう}子^しの女^め性^{せい}のイラ^いス^すトがあ^ありま^す。

☆ 12ページ

じょうれい
条^{じょう}例^{れい}の3^{さん}つのおお^{おお}とくち^{とくち}ょう
特^{とく}徴^{ちやう}

1 「合^{ごう}理^り的^{てき}配^{はい}慮^{りょ}の提^{てい}供^{きやう}」を義^ぎ務^む化^かしまし^た

とうきやうと く^くに さき^{さき}が とない みせ ごうりてきはいりよ ていきやう ぎむか
東^{とう}京^{きやう}都^とでは、国^{くに}に先^{さき}駆^かけて、都^と内^{うち}のお店^{みせ}などでの「合^{ごう}理^り的^{てき}配^{はい}慮^{りょ}の提^{てい}供^{きやう}」を義^ぎ務^む化^か
しまし^た。

く^くに ほう み^みな お れい^{れい}わ ねん が^がつ^つつ^つい^いた^ち に^にほん みせ
国^{くに}でも法^{ほう}の見^み直^ちしがな^なさ^れ、令^{れい}和^わ6^ご年^{ねん}4^し月^{げつ}1^{いち}日^{にち}から、日^に本^{ぽん}のど^どこ^こでも、お^お店^{みせ}など

ごうりてきはいりよ ていきやう ぎむか
での「合^{ごう}理^り的^{てき}配^{はい}慮^{りょ}の提^{てい}供^{きやう}」が義^ぎ務^むにな^なって^ます。

※「合理的配慮の提供」については、22ページをご覧ください。

★障害のある人と接するための対話の手段

筆談、手話、点字、読み上げ、分かりやすい表現に置き換えるなど、障害者に

あった方法で話す必要があります。お互いのことを考えて理解するようにしましょう。

※おたすけニャンがウインクしているイラストがあります。

◇ 13ページ

条例3つの大きな特徴

2 問題解決の仕組みをつくりました

障害者への差別に関係することで、特に難しい問題は、新たに設けた調整

委員会で、あっせん・勧告・公表を行えるようになります。

※紛争解決の仕組みをあらわす図があります。

- あっせんとは、調整委員会がそれぞれの事情を聴いて解決を目指す手続きです。

- 勧告とは、東京都が事業者に対し、必要な対応を求めることです。

- 公表とは、特に悪質な事業者のことを、広く都民に知らせることです。

☆ 14ページ

しょうれい おお とくちょう
条例の3つの大きな特徴

3 こういきしえんそうだんいん はいち
広域支援相談員を配置しました

しょうがいしゃ かぞく みせ じぎょうしゃ そうだん おう
障害者やその家族からだけでなく、お店などの事業者からの相談にも応じる

こういきしえんそうだんいん とうきょうとちょう
広域支援相談員が東京都庁にいます。

とうきょうとしょうがいしゃけんりようご こういきしえんそうだんいん
東京都障害者権利擁護センター（広域支援相談員）

TEL: 03-5320-4223（平日午前9時～午後5時）

FAX: 03-5388-1413

メールアドレス：syougaisyakenriyugo@section.metro.tokyo.jp

そうだんうけつけ
相談受付フォーム：<https://logoform.jp/form/tmgform/261738>

※QRコードをつける

す くしちょうそん そうだんまどぐち い か とうきょうとふくしきょく
お住まいの区市町村の相談窓口は、以下のとおり、東京都福祉局のホームページ

からご覧いただけます。

とうきょうとふくしきょく しょうがいしゃ そうだんまどぐち しょうがい りゆう さべつ かん そうだんまどぐち
東京都福祉局＞障害者＞相談窓口＞障害を理由とする差別に関する相談窓口

☆ 15ページ

しょうがい とくせい おう こと しゅだん ほうほう せんたく
障害の特性に応じて異なる手段や方法を選択

そのときわたしたちにできる合理的配慮の提供

※おたすけニャンが高い本棚から、本を取り出し、車いすを利用する女性に渡して手助けしているイラストがあります。

※近くで、すけだち君が応援しているイラストもあります。

☆ 16ページ

● ^{びょういん}病院で…

※精神障害のある若い女性が家族と総合病院に行った際に、受付スタッフがヘルプマークを付けていることに気づき声をかけ、女性が、待つことが難しいことを伝えたところ、個室を案内してもらえました。また、順番を抜かされたと勘違いした他の患者にもスタッフが説明し理解を得たという内容の4コマ漫画です。

・ ^{きょうこ}今日も混んでいますね

・ ヘルプマークをつけた^{かんじゃ}患者さんだわ

・ なにかおこまりですか？

・ じつは人^{ひと}混^ごみが…^{にがて}苦手です　くるしい

・ ^{いま}今あいている^{へや}部屋を^{つか}使ってください。　^{すたっふ}スタッフが^よお呼びします

・ ^{じゅんぱん}順^ぬ番を抜かされた？あのかたも^ま待ってもらっているんですよ！^{あんしん}安心して^まお待ちください

☆ 17ページ

● アパートやマンションを探しているとき…

※弱視の男性が、不動産仲介店に行った際に、店員から資料を拡大コピーして渡してくれ、物件の下見を案内されるという内容の4コマ漫画です。

・ おうかがいします

・ どうですか？もっと^{かくだい}拡大しましょうか？

・ さっそくお^{へや}部屋を^み見ますか？チェックしたいことは^い言ってください　わたし

^{かくにん}が^{かくにん}確認します

☆ 18ページ

● えき りよう 駅を利用しているとき…

※車いすの年配の女性が切符を買うための自動販売機に手が届かず困っているときに、それに気づいた通行人の男性が声をかけ、切符を購入でき、駆けつけた駅員がその後の案内をするという内容の4コマ漫画です。

- ・おてつだいしましょうか？
- ・どちらまで？^{かたみち}片道で？
- ・^{えきいん}駅員さんだ よかった ではおきをつけて
- ・^{あんない}案内ありがとうございます あとは、わたしがご案内いたします

☆ 19ページ

● みち まよ 道で迷っているとき…

※道で迷っている聴覚障害のある女子学生に、通行人の男性が声をかけ、聴覚障害があることに気づいた男性が、筆談で行きたい場所を確認し、ノートに書き示しながら道案内をするという内容の4コマ漫画です。

- ・なにかおこまりですか？
- ・^{しゅわ}手話はできなくて…^{とちよう}都庁？
- ・^{とちよう}都庁へ行きたい？
- ・いま、ここです。^{かみ}紙に^か書きましょうね

☆ 20ページ

● スーパーのレジで…

※知的障害のある男性がスーパーのレジに並んだ際に、店員は、ポイントカードの更新をするか聞きますが、男性は書類を書けず、本人住所の書かれたヘルプカ

ードを差し出しました。店員は本人の了承を得て、家族へ連絡をとり、難しそう
なところは、店員が代筆を行ってポイントカードの更新をしたという内容の4
コマ漫画です。

・ポイントカードをあたらしくしますか？

・かみに ^{なまえ} 名前、^{じゅうしょ} 住所、^{でんわばんごう} 電話番号を書いてほしいのですが…

なにかわかるものとか…

・ヘルプカード？

・うらに ^{でんわばんごう} 電話番号が ^か 書いてあるわ！ ^{みせ} お店から ^{でんわ} 電話しますね

・かぞくの ^{りょうかい} 了解をもらって、すこし ^{だいひつ} 代筆もしたから、あたらしいカードがわた
せたわ

☆ 21 ページ

ヘルプマーク

^{えんじょ} 援助が ^{ひつよう} 必要な ^{かた} 方のためのマーク

^{えんじょ} 援助や ^{はいりょ} 配慮の ^{ひつよう} 必要なが ^{がいけん} 外見から ^{かた} わからない方のためのマークです。

^み 身に ^つ 着けている方を見かけたら ^み 席を ^{せき} ゆずるなど、^{おも} 思いやりのある ^{こうどう} 行動を ^{ねが} お願い
します。

ヘルプカード

^{こま} 困ったときに ^{てだす} 手助けを ^{もと} 求めるためのカード

^{しょうがい} 障害のある ^{かた} 方などが、^{さいがいの} 災害時や ^{にちじょうせい} 日常生活の中で ^{なか} 困ったとき、^{こま} 周囲の人に ^{しゅうい} 手助け

を ^{もと} 求めるためのカードで、^{れんらくさき} 連絡先や ^{てだす} 手助けしてほしいことなどが ^か 書いてありま

す。^{きさいないよう} 記載内容に沿った ^そ 支援を ^{しえん} お願いします。^{ねが}

お問い合わせ先：東京都福祉局障害者施策推進部企画課

電話：03-5321-1111（内線 33－241）

FAX：03-5388-1413

※すけだちくんとおたすけニャンが思いやりのある行動を呼びかけているイラストがあります。

☆ 22ページ（新規ページ）

障害者差別解消法と都条例で求める2つの対応

① 不当な差別的取扱いの禁止

障害者であるという理由だけで、拒んだり、条件をつけたりしてはいけないということです。

たとえば

・学校で…障害者であるという理由で、学校の受験や入学を断ってはいけません。

・お店で…盲導犬や聴導犬がいるからといって、お店に入るのを断ってはいけません。

② 合理的配慮の提供

障害者から困っていることを伝えられたとき、それを解決するための責任や

費用が重すぎない範囲で、色々な方法を考えて、障害にあった対応をすることです。

たとえば、

がっこう たが きも った ひつだん たんまつ つか
・学校で…お互いの気持ちを伝えるために、筆談やタブレット端末を使うこと。

みせ ところ ま ひと べつ へや ま
・お店で…みんなのいる所で待てない人に、別の部屋で待てるようにすること。

☆ 23ページ

きょうせいしゃかいじつげん む どうきょうと とりくみ
共生社会実現に向けた東京都の取組

- どうきょうとしょうがいしゃさべつかいしょうほう
東京都障害者差別解消法ハンドブック

しょうがいしゃさべつかいしょう りかい ふか
障害者差別解消について、理解を深めることができます。

- しょうがいしゃさべつかいしょうほうごうりてきはいりょう こうじれいしゅう
障害者差別解消法合理的配慮等の好事例集

ごうりてきはいりょう ぐたいれい ばめんべつ けいさい
合理的配慮の具体例を場面別に掲載しています。

- ウェブサイト「ハートシティ東京」
どうきょう

※QRコードをつける ※ハートシティ東京イラストをつける

しょうがいしゃ ほうほう しょうがいしゃさべつ ぎやくたい そうだんさき し
障害者のことやサポート方法、障害者差別・虐待の相談先を知ることができます。

しょうがいしゃさべつかいしょう む とりくみ い か どうきょうと ふくしきょく
障害者差別解消に向けた取組については、以下のとおり、東京都福祉局のホームページからご覧いただけます。

どうきょうと ふくしきょく しょうがいしゃ しょうがいしゃしきく しょうがいしゃさべつかいしょう けんりようご
東京都福祉局 > 障害者 > 障害者施策 > 障害者差別解消 と 権利擁護 >

しょうがいしゃさべつかいしょう かんする ふきゅうけいはつ
障害者差別解消に関する普及啓発 ※QRコードをつける

◇ 裏表紙

しょうがいしゃ たい さべつ ひとり しょうがい ひと
障害者に対する差別をなくしていくためには一人ひとりが障害のある人のこ

とを「知らない・分からない」とせず、理解することが大切です。

だれ ささ あ しゃかい め ざ ぐたいでき こうどう
誰もが、支え合う社会を目指し、具体的に行動していきましょう。

と あ さき
お問い合わせ先

とうきょうと
東京都

ふくしきよく
福祉局

しょうがいしゃしきくすいしんぶ
障害者施策推進部

きかくか
企画課

〒163-8001 とうきょうとしんじゅくにしんじゅくにちようめ ばん ごう
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

でんわ
電話：03-5320-4559（ダイヤルイン）

FAX；03-5388-1413

れいわがんねん がつはっこう
令和元年9月発行、

れいわ ねん がつかいてい
令和〇年〇月改訂

はっこう

とうきょうとふくしきよくしょうがいしゃしきくすいしんぶ きかくか
発行：東京都福祉局障害者施策推進部企画課

へんしゅう

編集・デザイン：株式会社ドウ・アーバン

いんさつ
印刷：●●

※おたすけニャンがハートをもって、共生社会の実現を願うイラストがあります。